



新たな入学者選抜方法とカリキュラム

2006（平成18）年度より薬学部6年制が開始された。2017（平成29）年度入学生まで、本学部では、薬学関連領域における多様な専門分野の選択という観点から、学科を分けずに一括募集・一括入学による入学者選抜を実施し、3年次後期で学科配属を行っていたが、2018（平成30）年度入学生より、学科ごとにさらに特色ある教育カリキュラムを導入するため、それまでの一括募集を廃止し、学科別募集に変更した。また、この学生募集方式の変更に伴い、2017（平成29）年度入学生まで行ってきた推薦入試を廃止し、本学部で策定したアドミッション・ポリシーに基づき、志望理由書、活動報告書、調査書、論述レポート及び個人面接、大学入試センター試験の成績を総合して可否を判定するAO入試を導入した。

さらに、薬学科では前述のAO入試と集団面接を課す前期日程一般入試のみの募集に変更した。

2019（令和元）年5月現在、1・2年次にこの新たな入学者選抜方式により選抜された学生が在籍しており、それぞれの学科のディプロマ・ポリシーに対応した特色あるカリキュラム策定のため、旧来の授業科目における重複等を見直し整理するとともに、講義時間を90分に延長し、新たな科目、演習等が加えられたカリキュラムによる教育を行っている。新たなカリキュラムの例としては、創製薬科学科学生は1年次前期には外国人教員が英語で授業を行う「薬学英語実践講座」、薬学部で最先端の研究を担う研究室で最新の研究を体験する「研究体験演習Ⅰ」、「研究体験演習Ⅱ」で学習した内容を元に論文の作成を行う「学術論文作成法」や、学生が各研究室で実験等を行う「研究体験演習Ⅱ」等が設けられている。

